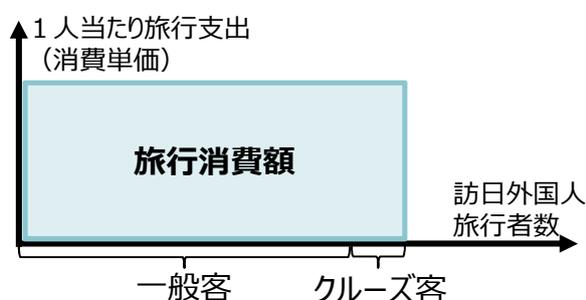


<補足:2018年1-3月期からの統計手法の変更について>

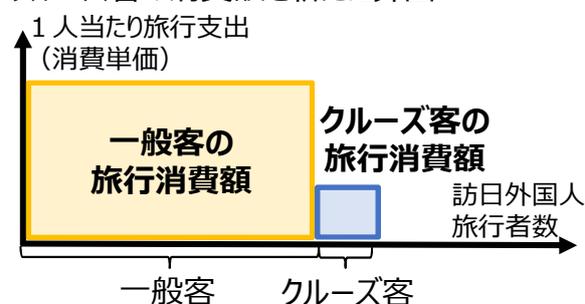
- 2010年の調査開始時にはほとんど見られなかったクルーズ客が近年急速に増加し、2013年の約20万人から、船舶観光上陸許可が新設された2015年には100万人を超え、さらに2017年には約250万人となりました。
- クルーズ客の消費動向は、一般客と必ずしも同様ではないことから、訪日外国人旅行者の消費動向をより正確に把握するため、2018年1-3月期より、クルーズ客を対象とした新たな調査を実施することとしました。
- また、地域調査の拡充に合わせて、2次速報において、調査期間中の港別/国籍・地域別の出国者数を考慮して1人当たり旅行支出をより正確に算出するなど、統計手法の精緻化を図ったところです。
- なお、クルーズ調査を開始した2018年1-3月期より前は、クルーズ客の1人当たり旅行支出が把握できない等、新たな調査・推計手法を過去に遡って適用することはできないため、2017年までの旅行消費額や1人当たり旅行支出の数値と単純に比較することができないことには留意が必要です。

<従来（～2017年）>



<クルーズ調査開始後（2018年～）>

クルーズ客の消費額を新たに算出



◎ 統計手法精緻化の例

港別/国籍・地域別の出国者数を考慮した1人当たり旅行支出の算出

例：韓国（2018年1～3月期）

| 調査空港 | 1人当たり旅行支出 | 調査票数 ^注 | 1-3月期の出国者数（構成比） |
|------|-----------|-------------------|-----------------|
| 成田空港 | 105,672円 | 99票(11.7%) | 14.1% |
| 関西空港 | 75,393円 | 208票(24.5%) | 33.4% |
| 博多港 | 59,119円 | 50票(5.9%) | 2.3% |
| ... | ... | ... | ... |

| 1人当たり旅行支出 | |
|----------------------------|------------|
| 昨年の出国港毎の出国者数の構成比でウェイトづけ | 75,813 円/人 |
| 1-3月期の出国港毎の出国者数の構成比でウェイトづけ | 78,650 円/人 |

注) 調査票数は、前年の港別の出国者数の構成比に応じて配分